

いわき湯本病院

高橋 和幸 (放射線科 科長 / 放射線技師)

功 績 胃透視検査における再撮影率0%の達成による、医療の質と安全性の向上への功績。

推薦者氏名 (MaD / 鈴木 康仁)

推薦理由 本取り組みは、再撮影率0%という明確な成果により、医療の質と安全性の向上を実現するとともに、患者負担の軽減、業務効率化、コスト削減といった複数の価値を同時に創出した点で高く評価できる。

また、標準化と教育体制の確立により再現性が高く、他部門・他施設への展開も可能な優れたモデルである。これは「尊厳は平等である」という理念のもと、患者さんに優しい医療と筋肉質な経営を両立した好事例であり、理事長賞に値する功績である。

内 容

放射線科科長として、胃透視検査における再撮影率0%を達成した。従来の撮影方法を抜本的に見直し、撮影プロトコルの標準化と詳細な手順の明文化を行うとともに、スタッフ間の技術差を解消するための実技指導および教育体制の強化を主導した。さらに、撮影時の体位変換やタイミング、観察ポイントの統一を徹底することで、誰が担当しても一定水準以上の画像品質を担保できる体制を構築した。

また、検査前の説明内容や誘導方法を見直し、受診者の理解と協力を得やすい環境を整備することで、検査精度の向上とスムーズな進行を実現した。加えて、検査後の振り返りや事例共有を継続的に行い、小さな課題を即時に改善する仕組みを確立し、再撮影ゼロを維持する組織的な運用体制を定着させた。

さらに、昨年後期より試行していた高濃度少量バリウム検査を本導入し、少量化による受診者の身体的負担軽減と、飲み残しバリウムの廃棄削減によるコスト低減を実現した。あわせて、撮影プロトコルの統一により検査時間の短縮を図り、検査効率および部門全体の生産性向上にも大きく寄与している。

これら一連の取り組みにより、医療の質・安全性・効率性・経済性を高い次元で両立した持続可能な検査体制を確立した。